

を公表します

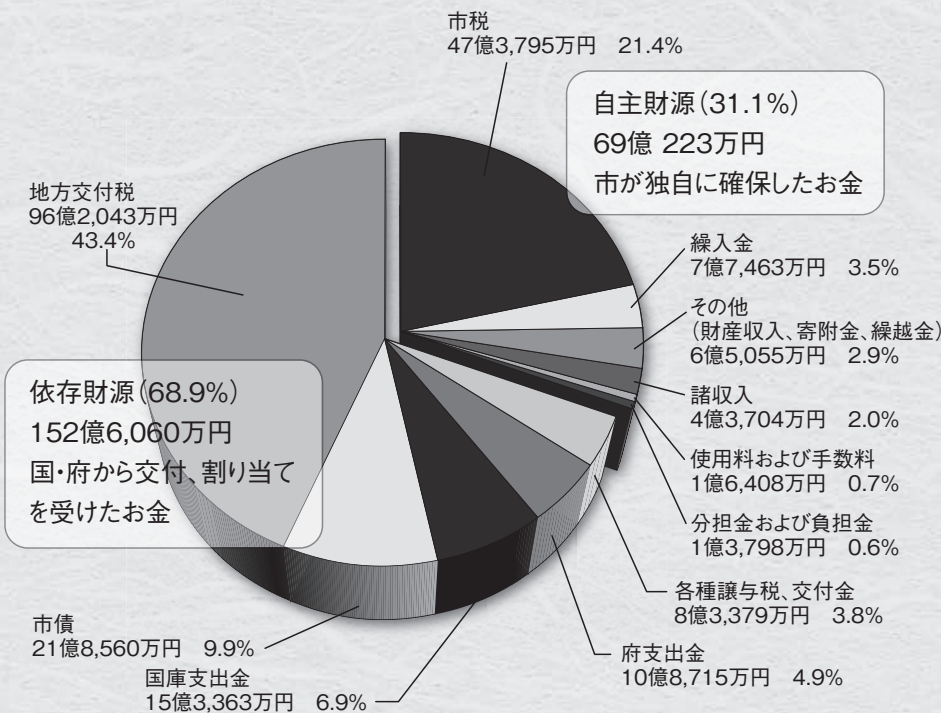
市民の皆さんの税金がどのように使われ、市の財政がどのような状況にあるか知っていただくため、年2回財政状況を公表しています。

今回は、平成20年度の決算状況(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)と、平成21年度の上半期の予算執行状況(平成21年4月1日から9月30日まで)をお知らせします。

平成20年度 決算

※単位未満四捨五入

一般会計 歳入
221億6,283万円



■一般会計
平成20年度の一般会計決算は、歳入総額221億6,283万円、歳出総額216億4,810万円となりました。歳入歳出差引残高は5億1,473万円。このうち翌年度へ繰り越す事業の財源1億3,594万円を差し引いた実質収支額は、3億7,879万

円の黒字決算となりました。ただし、事業実施にあたっては、市の貯金となる財政調整基金から4億8,904万円を繰り入れるなど厳しい決算状況となっております。今後、事務事業の見直しを積極的に、長期的に安定した健全な財政運営を目指します。

健全化判断比率	指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
	平成20年度	- ※	- ※	19.7%	198.5%
	早期健全化基準	12.83%	17.83%	25.0%	350.0%
	財政再生基準	20.00%	40.00%	35.0%	

※赤字額がないため、「-」としています。

資金不足比率	特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
	南丹市上水道事業会計	- ※	20.00%
	南丹市簡易水道事業特別会計	- ※	
	南丹市下水道事業特別会計	- ※	

※資金不足額がないため、「-」としています。

「財政の健全化判断比率等」
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、地方公共団体は毎年度、決算に基づいて健全化判断比率などを算定し、監査委員の審査に付した上で、その意見を付けて議会に報告するとともに、市民の皆さんに公表することとしています。